

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年8月29日 (2013.8.29)

【公表番号】特表2012-533560(P2012-533560A)

【公表日】平成24年12月27日 (2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-520795(P2012-520795)

【国際特許分類】

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 49/00 (2006.01)

A 6 1 K 51/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/337 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 7/06 Z N A

C 0 7 K 7/08

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 49/00 C

A 6 1 K 49/00 A

A 6 1 K 49/02 A

A 6 1 K 49/02 C

A 6 1 K 31/337

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月10日 (2013.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式 (I) を含む分子であって、

A - X - B - C 式 (I)

式中、

A は、5 ～ 9 個の連続した酸性アミノ酸を含む配列を有するペプチドであり、該アミノ酸はアスパルタートおよびグルタマートから選択され；かつ

B は、5 ～ 20 個の連続した塩基性アミノ酸を含む配列を有するペプチドであり；

X は、リンカーであり；かつ

C は、発光標識である、

前記分子。

【請求項 2】

C が共有結合で B に結合している、請求項 1 記載の分子。

【請求項 3】

A が 9 個の連続したグルタマートを含む配列を有する、請求項 1 記載の分子。

【請求項 4】

B が 9 ~ 16 個の連続したアルギニンを含む配列を有する、請求項 1 記載の分子。

【請求項 5】

B が 9 個の連続したアルギニンを含む配列を有する、請求項 1 記載の分子。

【請求項 6】

(a) A が 8 ~ 9 個の連続したグルタマートを含む配列を有し、かつ (b) B が 9 個の連続したアルギニンを含む配列を有する、請求項 1 記載の分子。

【請求項 7】

A および B が D - アミノ酸を含む、請求項 1 記載の分子。

【請求項 8】

X が切断可能なリンカーである、請求項 1 記載の分子。

【請求項 9】

X が pH 感受性リンカーである、請求項 1 記載の分子。

【請求項 10】

X が細胞外空間で切断される、請求項 1 記載の分子。

【請求項 11】

X がプロテアーゼ、マトリックスメタロプロテアーゼ、またはそれらの組み合わせにより切断される、請求項 1 記載の分子。

【請求項 12】

X がペプチド結合を含む、請求項 1 記載の分子。

【請求項 13】

X がアミノカプロン酸を含む、請求項 1 記載の分子。

【請求項 14】

X がジスルフィド結合を含む、請求項 1 記載の分子。

【請求項 15】

X が約 6 ~ 約 30 原子の長さである、請求項 1 記載の分子。

【請求項 16】

X が還元剤により切断される、請求項 1 記載の分子。

【請求項 17】

発光標識が蛍光標識である、請求項 1 記載の分子。